



LD等発達障害児・者親の会

「けやき」機関紙

第108号

2015年6月発行

発行者・代表 三輪 覚子  
けやきホームページURL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8  
<http://keyakitokyo.web.fc2.com/>

## ご挨拶と例会のお知らせ

けやき会員の皆様

今年度新しく副会長に就任致しました廣瀬登士子と申します。

けやきに入会して3年の私が、このような大役を仰せつかるとは夢にも思わず、例会でも右往左往してばかりですが、早く皆様のお役にたてるよう、努力していくつもりです。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、5月例会で、今年度取り上げたい内容の一つとして「障害年金」が挙げられました。障害年金は、子どもたちが将来自立した生活を送っていくための大きな支えの一つです。ところが、私たちはその内容をどのくらい知っているでしょうか。「障害年金とはどういうものなの?」「なかなか取得できないと聞いているけれど・・・」等、疑問をお持ちの方も多いのではないかと思います。

そこで7月例会には、専門の社会保険労務士をアドバイザーとしてお招きし、年金について基礎から教えていただく学習会を計画しました。大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

## 7月例会のお知らせ

日時：平成27年7月25日(土)13:00~16:30

場所：東京都多摩社会教育会館 201研修室  
立川市錦町6-3-1

(東京都多摩教育センター内)

テーマ：『最近の障害年金事情と申請方法』

アドバイザー：社会保険労務士 松山純子先生

<http://matsuyama-sr.com/office.html>



## 平成27年度 「親の会けやき」総会を開催しました。



4月26日（土）13：30～多摩社会教育会館研修室にて、総会を開催しました。26年度の活動と会計報告、27年度の役員選出および活動計画と予算案等、すべて承認されましたので、ご報告いたします。

また、提案の会則の一部変更についても、検討の結果改正案が可決されました。

今年度もまた、少ない会員数でのスタートです。・・・が、情報交換を今まで以上に蜜にして、同じ親同士だからできる活動に力を入れていきましょう。

### 総会のあとの交流会では



参加者12名で下記のテーマを元に、子どもたちの近況を出し合いながら交流致しました。参加者の子どもの年齢が高校生以上だったこともあり、「就労と自立」中でも、一人住まいに関する内容に焦点が集まった話となりました。支援内容や支援事業所が増えているが、支援内容の質の違い等、課題が多い事も浮き彫りにされました。

また、近年けやきの正会員は年々減少傾向にあり、新規加入されても継続とならない現状があります。親の会の役割そのものに意義を見いだせなくなっているのでしょうか？それとも会の運営に問題があるのでしょうか？

その中で特筆すべきこととして、15年近い年月を経ている自主グループ「ポーレポーレ」の存在は、大きな意義を感じます。当初親たちは、子どもたちが大人になった時の仲間作りとして立ち上げ、多くの学生たちの若い力がボランティアとして活動に協力して頂きました。当時の子どもたちも、現在20代半ばの成年となり、居場所としての主体的活動の場となっている報告も出されました。

親の会「けやき」交流会は、親が今必要だと感じている事柄について、同じ境遇にある親たちとの交流を通して問題解決の一助となる場ではないでしょうか。



### 参加者の声より

- ★いろいろな話ができて、心強く感じました。
- ★先輩の話を聞きながら、今後の自分と子どもについて考えていきたいと思いました。
- ★参加者の年齢が高かったので生活の話中心になったが、予め今困っている事を話してもらうのもいいかもしれませんね。
- ★今後は、親自身の終活と親亡き後のために、具体的に何をしていけばいいのか？どのようなプランがあるのか聞きたい。
- ★就労支援や移行、職場定着（継続）、障害年金、手帳等々の情報を知りたい。

## 平成27年度の主な活動予定一覧表

内容	開催日	時間	内容	場所
4月活動 総会	26日(土)	13:30~14:30 14:30~16:30	平成27年度総会 会員交流	多摩社会教育会館201会議室
5月活動	10日(日)	14:00~	東京東部	タワーホール船堀
	17日(日)	13:00~16:00	東京LD親の会	北沢タウンホール 10-Aブース
	23日(土)	13:00~13:30 13:30~16:30	入会手続き 5月例会	多摩社会教育会館302会議室
6月活動	7日(日)		JDD ネット総会	都内
	13~14	2日間	全国LD親の会総会	大阪・ドーンセンター
	27日(土)	13:00~14:30 14:30~16:30	機関紙発送作業 役員会	多摩障害者スポーツセンター 第1集会室-C
7月活動	8日(水)	18:30~20:00	支援体制整備委員会	都庁第二庁舎31F 会議室
	12日(日)	13:00~16:30	関東ブロック会議	港区障害保健センター
	25日(土)	13:00~16:30	7月例会	多摩社会教育会館201会議室
8月活動				※8月は夏休みです。
9月活動	26日(土)	13:00~13:30	9月例会	
10月活動	11~12日	2日間	日本LD学会	福岡国際会議場
	24日(土)	13:00~14:30 14:30~16:30	機関紙発送作業 役員会	
11月活動		日(日)13:00~16:30	関東ブロック会議	港区障害保健センター
	28日(土)	13:00~16:30	11月例会	
	29日(日)		JDD ネット 年次大会	東京ウィメンズプラザ
12月活動	19日(土)	11:00~15:00	ランチ忘年会	
1月活動	23日(土)	13:00~13:30	1月例会	
2月活動	27日(土)	13:00~16:30	2月例会	
3月活動		日(日)13:00~16:30	関東ブロック会議	港区障害保健センター
	26日(土)	10:00~12:00 13:00~16:30	機関紙発送作業 役員会	

※ 場所は決まり次第会員用メールリストやホームページ等で連絡します。  
各自で確認の上、参加してください。

## NPO 法人全国 LD 親の会 第8回総会が開催されました。

平成27年6月13日（土）12：30～

大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）にて

出席26団体、委任状18団体により総会は成立し、決議事項（第1号～第3号議案）および理事会報告（平成27年度事業計画と予算案）は全員一致で賛成されました。

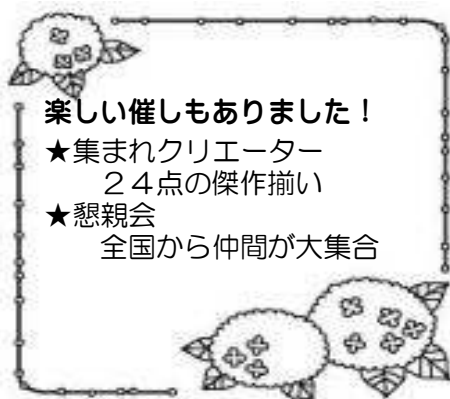
東條理事長からは、在籍会員数が3000名を切り、さらに日本財団からの助成金が打ち切りになったことで、会の財政を緊縮させる必要が急務であること。しかし、これを機に親の会の原点に立ち返り、親の会として何ができるのか、何をしたらいいのかを、しっかり考え、見据えたいとの挨拶がありました。

全国 LD 親の会では、本年も活動の方針を以下の4事業としています。

- 1、LD等の発達障害に関する研究事業（サポートツール・支援員養成等）
- 2、LD等の発達障害に関する理解啓発事業（公開フォーラム・冊子作成・HP等）
- 3、LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業（空白県支援等）
- 4、LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実に向けた事業（要望書等）

私たち「けやき」も一会員として全国の活動を盛り上げながら、情報を共有し、時には力を借りつつ、学びあいたいと思います。

今年度は大阪会場での開催となりましたので、近畿ブロックの方々が中心になって準備・運営にご尽力くださり、感謝です。たくさんの仲間の存在を力強く感じる総会でした。



### 研修会報告 「就労・就学における合理的配慮に必要な考え方と準備できること」

慈慶医療科大学院の岡耕平先生から、背景となる障害者の権利条約や差別解消法から導入していただき、合理的配慮とは？、さらに上手く話し合うにはどうしたらいいのかというお話を伺いました。

「同じ土俵に立つ」までの調整なので、両者（当事者と配慮を求められた方）の合意の下で決められるようにすること。配慮を得られたことで期待できる効果等を具体的に示しながら、お互いに納得することが大切だということが、よくわかりました。 S. M

## 第14回全国IQ親の会・公開フォーラムに参加して

今年度のテーマは『これからの発達障害支援と合理的配慮～共生社会に向けた支援のありかた～』であった。

「合理的配慮」は、2011年に成立した改正障害者基本法において、日本では初めて法律に明記されたということらしい。第4条に「差別の禁止」が新設され、合理的な配慮がされないことが障害者への差別につながるとした。この「合理的配慮」を実現するためにルールを定めたのが、2013年に成立した「障害者差別解消法（2016年施行）」で、こうした国内法の整備が整ったことが、2014年の障害者権利条約批准へとつながった。



さて、「合理的配慮」とは具体的にはどのようなものか、何が不当な差別的取り扱いになるかなど、よく分からないままフォーラムに参加したのだが、各講演者や解説者の分かりやすい話と、体験的ワークショップへの参加で、おおよそのところは掴むことができたと思う。

例えば、教育における障害者に対する「合理的配慮」とは、他者と同じスタートラインに立って、フェアな競争ができるようにすること。つまり障害があっても、そのことで不利になったり差別されたりせず、皆と一緒に“よいスタート”で教育を受けられるように配慮することであり、つまり、障害のある者とないものが共に学ぶ仕組みを保証するというところに他ならない。そのためには、すでにある状況や条件に対して、障害者の特性に合った「変化」をつけて、個々の自己決定と社会参加を支えるための環境を整備していくことになる。

これらのことは、配慮を要求する側（障害者）と配慮を提供する側（学校・事業所・会社等）とが協議し、合意のもとで決定していくことになる。まず、障害者一人ひとりがどういう配慮を望んでいるかを、しっかりと的確に伝えることが出発点になるが、ただし、「均衡を失した、過度の負担を課さないもの」という条件が付いているので、配慮を提供する側は、その状況に応じた変更や調整などを、お金や労力などの負担がかかりすぎない範囲で行うということになるのだろう。

また、疑問な点は多々あるが、「合理的配慮」を実現するためのルールが法制化されていく意義は大きい。発達障害者への支援がより具体化されたものとして社会に提示され浸透していけば、共生社会の実現に一歩でも二歩でも近づくことにはなる。

K. M

## 自主グループ活動報告

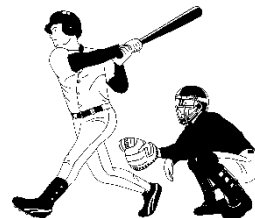
### ポーレポーレ

青年たちの余暇活動の自主活動グループです。

現在、メンバー11人とサポーターとで月1回活動しています。メンバーは高校1年生から社会人までいます。これからの予定を決める日には近況報告をし合うこともあります。いろ

今年度の内容（予定）

- 4月12日 吉祥寺駅周辺散策
- 5月10日 大宮・鉄道博物館へ行く
- 6月14日 西武ドームでの野球観戦
- 7月12日 調理（内容は未定です）
- 8月 9日 映画鑑賞
- 9月13日 今後の予定を話し合って決める
- 10月11日 高尾山への登山



んなことがうまくいっている時も、うまくいかなくてポーレポーレが貴重な居場所になっているときも、いつもの仲間と顔を合わせてホッとできる、そんなグループです。

最近はメンバーだけでの活動にも挑戦中です！



### つくし

今年度初回の活動は、6月13日（土）10：00～12：00に実施、交流会を持ち近況を話し合いました。

交流会で語られた内容から感じたこととして、子どもたちが小学校高学年になってくると、教科によっては学習内容が学校の学習時間内だけでは理解が難しく、親たちが、子どもの気持ちを支えながら宿題を中心に勉強を教え過ぎているのです。また、子ども自身が、周りの子とはなんだか違うようだ、何でこんなに勉強しているのに覚え不了的らうと感じ始めてくる頃です。すでに27歳になる息子が、小学高学年の頃と殆ど変わらない日々の就床前の光景です。LDの子を育てた親たちが通ってきた道のりです。平成19年から特別支援教育が法制化されて8年経つ今でも変わらない光景です。「LDの子どもたちの教育的ニーズに適切に対応する」との文言からはまだまだほど遠い子どもたちの状況でもあります。平成30年から具体化されると言われている「特別支援教室」の充実に期待せずにはられません。

小学高学年、中学、高校、その後の進路等、それぞれの子どもらが、どんな気持ちでその時代を経て大人になっているのか等など、親たちの体験を語り合いながら話はずきませんでした。

T.T.



# 散歩道



## 今年の連休は・・・終活エンジョイ！？

子供たちも社会人となり、土・日・祝日が休みとは限らないため、夫婦二人で休日を過ごすことが多くなりました。昨年は、ウォーキングフェスタに参加したり、江の島に行ったりしました。何も言わなければ、今年も何となくお手軽外出で過ごすのだらうと思い、ここ数年ずっと気になっていた‘お墓‘見学に行くことを提案しました。我が家にはお墓がなく、いずれはどうかしなければと思っていたのです。場所もチラシ等で事前に私がピックアップ。

当日はますますのお天気で、良いお墓見学日和でした。今どきの墓地はお花が咲きみだれ、通路も歩きやすく、所どころにベンチもありで、本当にきれいですね。いわゆる公園墓地というのでしょうか。こういう所なら、家族も気持ちよくお参りできるのでしょうか。何か所か見学して、話し合いを重ね、残った家族が通いやすい場所にしようと思っています。



連休最後の日は、二人で塩船観音に行ってきました。つつじの名所として知られている所で、前々から行ってみたいと思っていた所です。この時期は青梅線河辺駅から臨時バスも出ていて、意外と行きやすかったです。以前、知り合いから「すり鉢状になっていて、つつじに囲まれてきれだよ。」と言われていたので、すり鉢？→アリ地獄？などと勝手に想像してワクワクしながら向かいました。山門を抜けて少し歩くと‘すり鉢‘の上から眺めるような感じでとてもきれいです。だんだん下に降りていって下からぐるりと見渡すと、これもまた見事でした。ただ少しピークは過ぎていて、連休の初めが見頃だったようです。観音様を抜けると歩きやすいウォーキングコースも整備されていて、本当に気持ちのよい所でした。

こんな感じで過ごした今年の連休。ウォーキングや観光地巡りも元気でいられるからこそこのイベントです。子供のためにも、日々健康に気をつけて、‘最期‘の日まで心身共に元気に過ごすのも、終活なのではないかと考えています。それに、今年はお墓見学が加わり、十分に終活をエンジョイした連休でした。

Y.A



## 情報コーナー

けやき宛に届いた情報を掲載しています。  
お問い合わせ等は、直接関係先をお願いします。

### ★東京LD親の会連絡会より

平成26年度の東京都への要望書とその回答記録をホームページに掲載しました。  
この要望書は「にんじん村」と一緒に作成し、東京都知事宛として福祉保健局・産業労働局・教育庁の各部署に提出し、それぞれから直接回答をお聞きする機会を設けていただいています。発達障害のある人がより良く生活し続けるために、行政と共に活動できるようにとの願いを届けています。 けやきホームページをご覧ください。

### ★『発達障害者支援ハンドブック2015』（東京都福祉保健局）

福祉保健局のホームページ“東京都 発達障害？と思ったら”に、掲載に同意のあった支援機関・医療機関情報もありますので、参考にしてください。

### ★中小企業のための障害者雇用支援フェア～これから障害者雇用に取り組む企業の方へ～

日 時 平成27年7月29日（水）10：00～16：30（受付9：30～）  
場 所 新宿NSビル B1 NSイベントホール（大ホール）  
対 象 これから障害者雇用に取り組もうとする中小企業の経営者や人事担当者  
問合せ 東京都産業労働局 雇用就業部就業推進課 障害者雇用促進係

### ★第50回NHK 障害福祉賞 作品募集のご案内

募集期間 平成27年6月1日（月）～7月31日（金）  
募集部門 第1部門 障害のある本人の部門  
第2部門 障害のある人とともに歩んでいる人の部門

### ★第21回NHK ハート展 作品募集のご案内

募集内容 障害のある方が書いた詩（100字程度）  
応募締切 平成27年9月7日（月 当日消印有効）応募用紙にて、郵送のこと



◎上記2点の問合せ NHK 厚生文化事業団 03-3476-5955（FAX 同じ）  
問合せ専用メール : info@npwo.or.jp

### 編集後記

マイナンバー制度が来年1月からスタートします。それにより、今年10月から住民票に記載されている住所に通知書が送付されます。社会保障関係（年次資格の取得や受給など）、税務関係（確定申告など）、災害対策（被災者生活再建支援金受給など）の手続きでマイナンバーの記載が必要になります。このように大切な番号になります。それを子供たちがどれだけ大切なものを理解できるのかが、とても不安になります。しかし、とても便利な番号で、特に「個人番号カード」は身分証明書にもなり、自治体が条例で定めるサービスが利用できます。



T.M